



2023年5月16日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員兼 辻本 拓
財務 I R 部長
TEL. 03-5937-6466

大手電力7社電気料金値上げ決定による当社業績への影響について

政府の関係閣僚会議において、大手電力7社の一般家庭向け電気料金の値上げ申請について、6月1日からの改定が正式決定されております。6月からの各電力事業者の電気料金値上げにより、当社販売支援サービスエネルギー領域にポジティブな影響であることをお知らせいたします。

記

1. 概要

当社は「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、社会課題に対して、テクノロジー×リアルで解決していくことを目指し、人材採用、販促における成約支援事業を展開しております。販促支援サービスでは2022年3月期第4四半期より、INE社の子会社化を通じてエネルギー領域への参入を決定しました。同社は、WEBマーケティングによるエンドユーザー集客と、インサイドセールスによる電力・ガス成約支援サービスを運営し、2023年3月期においては、エネルギー市場における外部環境が厳しいなかで、当社事業は善戦し、電力成約件数で年間16.7万件の規模となり、当社グループ業績拡大に大きく寄与しております。また、2023年5月12日開示の通り、新たに電力成約件数年間11.2万規模で全国1,000以上の不動産会社等を中心とした販売パートナー戦略によってユーザー集客を行い、インサイドセールスによる電力・ガスの成約支援で成長している企業であるFive Line社の子会社化を決定し、2024年3月期第2四半期より連結対象となります。Five Line子会社化により、INE社とあわせて電力成約件数年間30万件規模となり、国内最大規模※1の電力成約支援事業者となります。

エネルギー市場の外部環境については、2023年3月期は非常に厳しい状況で、電力事業者の新規顧客獲得余力は低下し、成約単価も低下傾向、当社取引先事業者の中でも一時的に新規顧客獲得を停止される事業者も出ておりました。

しかしながら、本日(5月16日)正式決定された6月からの各地域電力事業者の電気料金値上げにより、その他の電力事業者についても地域電力事業者の料金を基準に値上げをしていく動きとなります。各社の料金値上げによりエンドユーザーへの適正な価格転嫁を通じて各電力事業者の事業収支が安定(黒字化)してくることとなります。それにより、電力事業者の新規顧客獲得余力が改善し、新規獲得を一時的に停止していた電力事業者の再開や、現在でも獲得を進めている電力事業者が獲得件数を更に増加させるためにマーケティングコストを投下し、1ユーザーあたりの獲得コスト(成約単価)を上げてくる動きになります。

既に電気料金値上げを踏まえ、新プラン導入にあたってのプランニングについて取引先電力事業者から当社に相談をいただく事例や、料金改定後の条件交渉について当社取引先大手電力事業者含めて協議を開始している状況となります。

※1「国内最大規模」：当社調べによるものになります。

2. 今後の見通し

6月からの電気料金値上げ以降の影響となるため、当社業績に与える影響は今期第2四半期からポジティブな影響となることが見込まれます。

5月12日に開示しております2024年3月期業績予想においては、電力成約件数の増加は織り込んでいたものの、1ユーザーあたりの成約単価の回復（改善）については、計画数値に織り込んでいないため、更にポジティブな影響となる可能性がございます。

また、ストック型収益化は、電気料金値上げによって1契約あたりの報酬フィーが増加していく可能性が高く、この点においてもポジティブな影響となります。

2024年3月期第2四半期より連結予定のFive Line 社子会社化による業績影響に加えて、本件による第2四半期以降の上記ポジティブな影響による当社業績に与える影響が判明次第、速やかに公表いたします。

以上